



無料講演会

北海道における 民家の系譜と活かし方

～北海道は民家の博物館～



蝦夷地は中世より和人が定住し、アイヌの建築を含め様々な建築が建てられた。近世になると道南を中心に漁家・町家・農家の民家が建てられ、明治以降は入植に伴い、各地に出身地の民家が建てられた。北海道を民家の博物館と捉え、民家の系譜と活用事例を語る。

◀厚真町・旧畑島家住宅のヒロマの梁組（明治末の富山県の梓の内構法）。現在はパン屋さん此方として移築再生されている

2025年 9月 10日【水】 13:30～15:00

会場

札幌市資料館 2F 研修室（札幌市中央区大通西13丁目）

地下鉄東西線「西11丁目」1番出口より 徒歩5分
市電「中央区役所前」より 徒歩6分

定員

40名 ※多数時抽選



HP
はこちら

講師



札幌市立大学 名誉教授

羽深 久夫 氏

- ・博士（工学）
- ・北海道文化財保護審議会 副会長
- ・北海道史編さん委員会 専門委員
- ・NPO法人北の民家の会 理事長
- ・北海道厚真町古民家再生推進協議会 会長

ほか

お申込み・お問合せ

TEL 011-251-0731 FAX 011-271-5921

HP www.s-shiryokan.jp（応募ボタンより）

受付期間：8/8（金）9:00～9/1（月）17:00

必要事項は、氏名・住所（区または市町村）・電話番号です。
申込数が定員を超えますと抽選となり、当選通知が開催1週間前をします。当館より連絡がない場合は落選となりますのでご了承ください。